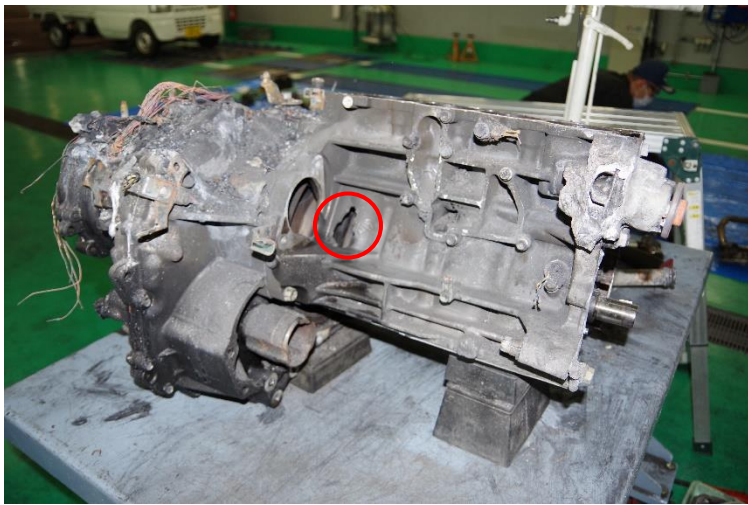


「冠水時」の車両火災に注意！

豪雨災害などで道路が冠水した時に、雨水が車のエンジンルーム内に浸入してエンジンの部品が破損、その結果エンジンオイルがエンジン外に漏れ出し、高温の排気管等に接触して出火に至る事例があります。

このような出火事例は冠水後、数ヶ月経過した後に発生する場合があります。冠水時に車が浸かってしまった場合は、車が正常に動いたとしても、専門業者に点検を依頼することを推奨します。



穴の開いたエンジン



破損したエンジン内の部品